

# 泉南地域に生息する淡水産貝類について

大阪教育大学教養学科  
豊野 信行

2003年6月から同年8月にかけて大阪平野南部の泉南地域において、河川、水路、水田、ため池での淡水産貝類の生息調査を行い、11種の淡水産貝類を採集、確認した。水田においては貝類以外の動物についても記録した。水田区分別の調査方法と確認種を以下に示す。

## I、河川

**調査方法** 各調査地点において約20分間貝類の採集を行い、個体数を記録、その後放逐した。

**確認種** カワニナ、イシマキガイ

## II、水路

**調査方法** 調査地域内の水路を縦断し、貝類の生息が確認できる場所とその種類を記録した。ヒメモノアラガイとサカマキガイについては混生していることもあるので多数生息している場合には20個体前後採集し、種の確認と個体数の記録を行った。

**確認種** カワニナ、サカマキガイ、ヒメモノアラガイ、リンゴスクミガイ、ヒメタニシドブガイ

## III、水田

**調査方法** 圃場内においては隣り合った水田でも生息する動物の全く異なる場合がよく見られるので調査地域内に60箇所の地区を設定し、地区内で4枚前後の水田を縦断することによりその地区の生息種を確認することにした。その場合、隣り合った水田の調査は避けるようにした。調査時間は観察、記録、採集を含め、水田1枚につき約10分間である。

**確認種(貝)** ヒメモノアラガイ、サカマキガイ、リンゴスクミガイ、ヒラマキミズマイマイ(貝類以外)カブトエビ、ホウネンエビ、カイエビ、カエル類(幼虫)、イトミミズ、ウマビル、イモリ、ミナミヌマエビ、ヘビ

## IV、ため池

**調査方法** 調査可能なため池について水際周辺の水底や植物、落ち葉、木片の表面を観察した。調査時間は1つのため池につき約20分前後である。

**確認種** サカマキガイ、ヒメモノアラガイ、ハブタエモノアラガイ、ヒメタニシ、オオタニシ

主な貝類の生息状況は以下の通りである。

### ・カワニナ

調査地域では山地の河川より丘陵地の水路で多くみかけた。特に調査地域最南端に位置する岸町では多く生息しており河川、水路ともに個体数が多い。水田内では確認しなかった。

### ・イシマキガイ

調査地域南部の阪南市茶屋川以南の河川に生息している。香川では山間部近くの地点でも生息が確認できた。

### ・ヒメモノアラガイ

水田では調査地域全域で普通に見られたが、阪南市付近では見られなかった。水路にも入り込んでおり、水田のない住宅地でも見ることができた。ため池でも生息している場所がある。

### ・サカマキガイ

主に水路に生息しており、水田にはあまり入り込んでいないようである。山間部から平野部にかけて普通に見られるが、住宅地の水路ではあまり見かけなかった。ため池でも生息している。

### ・ヒメタニシ

水田調査では分布が局所的であり、岸和田市、貝塚市、泉佐野市(田尻町)の一部で見られた。いずれも平地の農地であり、丘陵地、山間部の水田では見なかったが、ため池調査では丘陵地でも高密度に生息している場所もあった。

### ・リンゴスクミガイ

岸和田市、貝塚市、泉佐野市の平地の水田で見られるが、分布が貝塚市と泉佐野市の間で途切れるようである。また局所的に山間部近くの水田で見られることもあった。ヒメタニシが見られる水田で生息していることもある。ため池でも大きな個体の死殻を見ることがあり生息しているものと思われる。

### ・ハブタエモノアラガイ

ため池調査において、6カ所で確認している。確認場所が5市に及んでおり、調査地域では広範囲に生息しているものと思われる。また10月以降の水路調査でも、3カでそれぞれ1個体ずつ確認している。

水田内に生息する貝類以外の動物の生息状況については以下の通りである。

### ・カブトエビ

調査地域全域で見られたが特に平野部に多く山間部や阪南市、岸町など調査地域の南部では個体数が少ないようである。

### ・ホウネンエビ

カブトエビ同様、調査地域全域で見られたが山間部にも生息しているようである。カブトエビと同属であるが同じ水田内に生息していることがよくある。

### ・カイエビ

水田内で普通に見られる種であるが、調査地域北部(岸和田市、貝塚市)と山間部では見られなかった。

### ・カエル類(幼虫)

調査地域全域で見られたが、岸町や中畑(和歌山県)では特に多く、水面を覆い尽くす盛

がある。そのような場所ではカブトエビが見られなかった。

### ・イモリ

泉南市童子畑の水田で1個体確認した。

### ・ミナミヌマエビ

岸町孝子の水田で1個体確認した。

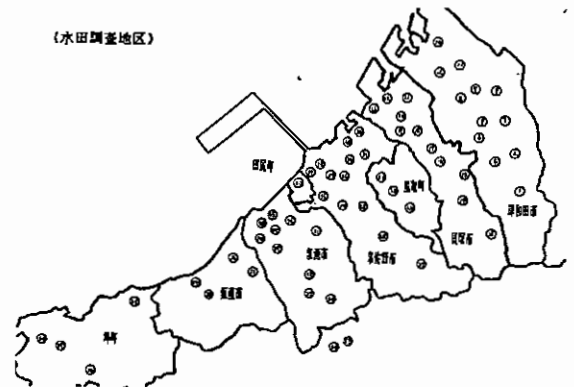
### ・ヘビ(シロマダラ)

岸町孝子の水田で1個体確認した。

今回の調査結果から泉南地域では11種の淡水産貝類のうち、カワニナ、イシマキガイは主に河川に分布しており、それ以外のものは主に水田、水路、ため池など水田周辺に分布していることが何れもわかる。ただし、サカマキガイは河川にも生息しており広い適応力を持っているようであり、ハブタエモノアラガイはその分布がため池に限定されているようである。両種はいずれも外来種であり、さらなる調査が必要であろうと思われる。

泉南地域は水田が多く、特に泉佐野市以南では灌漑期にはほとんどの平地が水田になってしまふほどであった。そのため水田調査のデータが最も多くなっている。泉南地域の水田においては近年少なくなってきたといわれるヒメモノアラガイがまだ多数生息しており、サカマキガイの侵入があまりみられないようである。両種は同じ場所に混生していることがしばしばあるが、秋以降の水路調査ではサカマキガイの生息する水路が多くてきており、2種間に季節的な増減の違いがあるのかも知れない。調査地域内では両種は岸和田市から岸町まですべての市町村に分布しているが、サカマキガイは住宅地周辺にはあまりみられず以外であった。比較的近縁な種であるこの2種についても興味ある調査が残されているようである。

## 泉南地域の水田に生息する動物の分布図

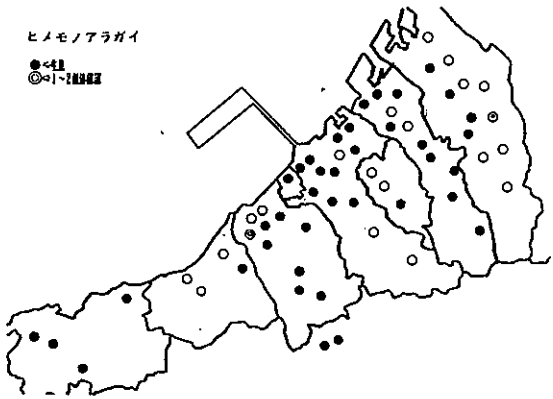


(水田調査地区)

岸和田市	貝塚市	泉佐野市	泉南市	阪南市	岸町
1 大沢町	13 香原	27 大木	41 新家	51 和泉鳥取	55 波輪
2 楳川町	14 木根(畑)	28 上丸	42 北野	52 鳥取	56 孝子
3 箱葉町	15 木根	29 日根野	43 岡田	53 石田	57 多奈川東畑
4 三ヶ山町	16 水間	30 上之郷	44 信達市場	54 箱作	58 多奈川西畑
5 土生庵町	17 三ツ松	31 上五里	45 鳴滝		
6 阿間河内町	18 名越	32 市場	46 信達葛塚	熊取町	和歌山県
7 三山町	19 王子	33 上之郷	47 信達童子畑	24 久保	59 神通
8 神須風町	20 石才	34 中庄	48 金鑑寺	25 朝代	60 中畑
9 尾生町	21 東	35 中庄	49 旗代	26 野田	
10 加守町	22 加神	36 下五里	50 馬場		
11 上松町	23 二色浜	37 長滝			田尻町
12 上生町		38 高松			40 旧虎
		39 羽倉崎			

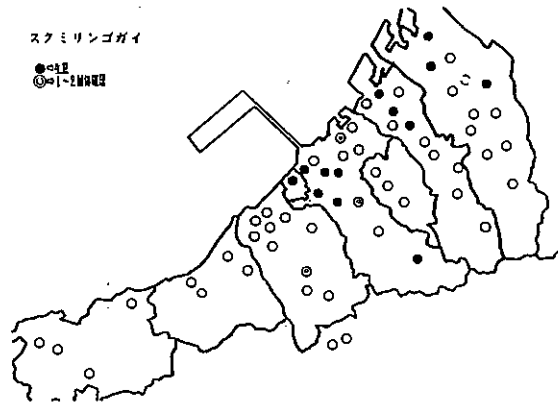
ヒメノアラガイ

● 0-12月  
◎ 1-2月



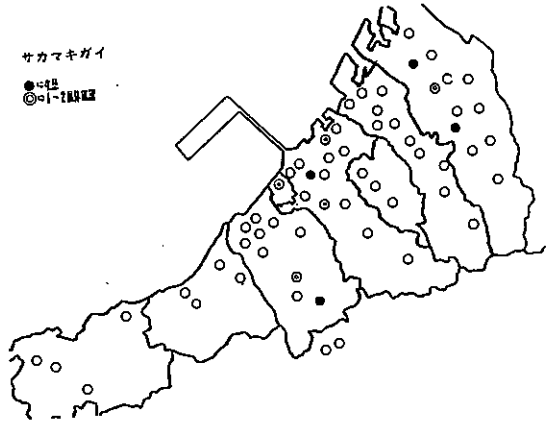
スマリリングガイ

● 0-12月  
◎ 1-2月



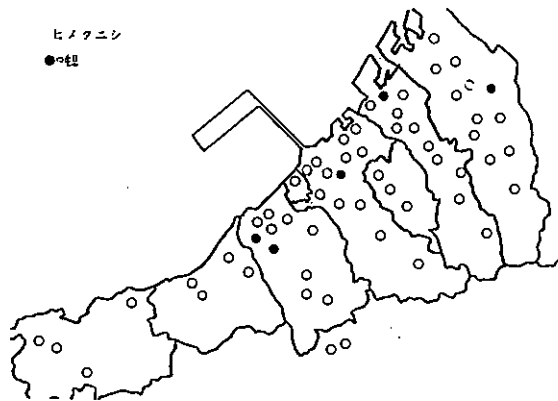
サカマキガイ

● 0-12月  
◎ 1-2月



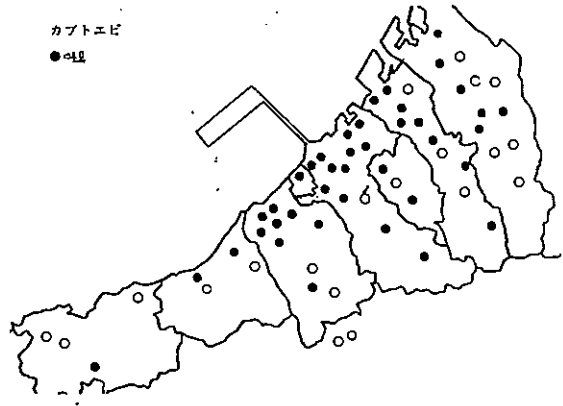
ヒメクニシ

● 0-12月



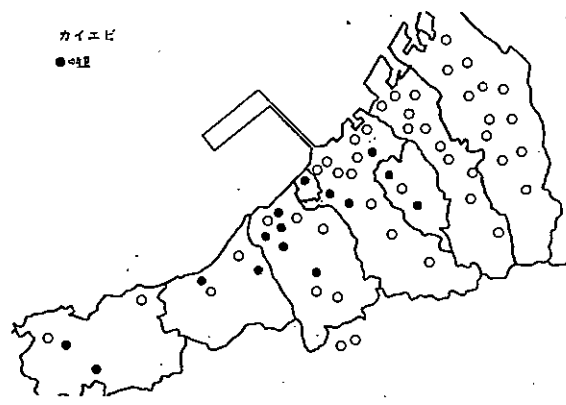
カブトエビ

● 0-12月



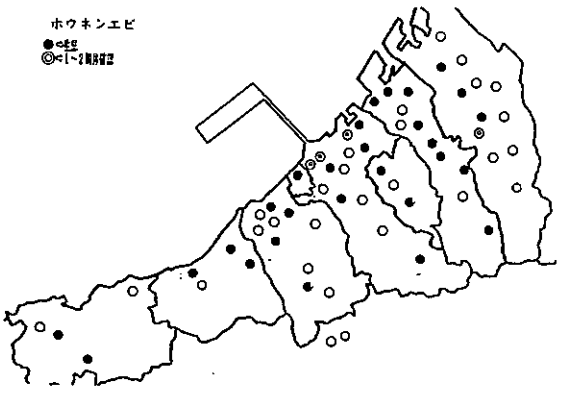
カイエビ

● 0-12月



ホウネンエビ

● 0-12月  
◎ 1-2月



カエル(幼生)

● 0-12月  
◎ 1-2月

